



2010年9月21日

各位

会社名 ミニストップ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 阿部 信行
 (コード番号 9946 東証第一部)
 問合せ先 常務取締役管理本部長 田中 茂
 TEL (043) 212-6472
 当社の親会社 イオン株式会社
 代表者名 取締役兼代表執行役社長 岡田 元也
 (コード番号 8267 東証第一部)

業績予想の修正に関するお知らせ

2010年4月14日に公表した2011年2月期第2四半期累計期間(2010年3月1日～2010年8月31日)の業績予想を、下記のとおり修正いたします。

1. 2011年2月期第2四半期累計期間業績予想の修正(2010年3月1日～2010年8月31日)

(連結)

(単位:百万円)

	営業収入	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想(A)	56,000	3,900	4,300	1,800	62円24銭
今回予想(B)	56,800	4,400	4,900	2,100	72円62銭
増減額(B-A)	800	500	600	300	
増減率	1.4%	12.8%	14.0%	16.7%	
(参考)前年同期業績	55,698	2,499	2,986	1,333	46円12銭

(個別)

	営業総収入	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想(A)	29,000	3,600	3,900	1,600	55円33銭
今回予想(B)	30,000	4,000	4,500	2,000	69円16銭
増減額(B-A)	1,000	400	600	400	
増減率	3.4%	11.1%	15.4%	25.0%	
(参考)前年同期業績	31,950	2,118	2,667	1,207	41円74銭

2. 修正理由

主な要因は、個別業績が予想を上回る見通しによるものです。個別の加盟店を含む売上高は、第1四半期では春先の天候不順の影響もあり、既存店日売上高前年同期比は94.8%となりましたが、第2四半期では盛夏型商品が好調に推移するとともに、今期より実施している店舗の品揃え強化のためのサポートにより、主力商品である弁当の1店1日当たりの売上高が8月度に前年並みまで回復する等、同比は100.0%となりました。その結果、第2四半期累計期間の同比は97.5%、全店売上高前年同期比は101.8%となりました。売上総利益率は、店内加工ファストフードや飲料の改善が計画を上回る等、30.4%となり前年同期比+0.3ptの見通しです。また販管費は、前期より推進しております構造改革が着実に成果を上げ、前年同期比93.0%と計画を上回る削減の見通しです。これらの結果、個別の営業利益は40億円(予想比111.1%、前年同期比188.8%)、経常利益は45億円(同115.4%、同168.7%)、四半期純利益は20億円(同125.0%、同165.7%)の見通しです。

連結業績は個別業績が牽引し、営業総収入は568億円(予想比101.4%、前年同期比102.0%)、営業利益は44億円(同112.8%、同176.0%)、経常利益は49億円(同114.0%、同164.1%)、四半期純利益は21億円(同116.7%、同157.4%)の見通しです。

尚、通期の業績予想につきましては、10月6日に予定しております第2四半期累計期間決算発表時にお知らせいたします。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上